

## 共和町

～「魅力あふれる大地と笑顔あふれるひとびとがともに創出するまち～きょうわ」～



共和町は、温暖な気候と肥よくな大地に恵まれた、古くから道央の米どころ。町の中央を東西に流れ、日本海に注ぐ堀株川の丘陵台地に農耕地が広がり、道外でも人気の高い「ななつぼし」「ゆめぴりか」などが生産されている。澄んだ空気と水、広大な土地という優れた自然の恵みがいっぱいの町である。

関連指標	数 値
【人 口】	5,858 人
【面 積】	304.92 km <sup>2</sup>
【出生数】	45 人
【世帯数】	2,870 世帯
【合計特殊出生率】	1.72

(出典：住民基本台帳 (R2.1.1), 人口動態統計 (R2))

### 1 町の特徴

共和町は、合計特殊出生率が1.72。しかし、町内人口は、6,428人(平成22年国勢調査)から5,838人(令和元年12月住民基本台帳)で、9.1%減少しているが、基幹産業である農業に加え、北電泊発電所の社宅があることにより、比較的若年層が地域に定着している。

また、農家世帯については、祖父母と同居や近隣に住んでいることなどにより、家族からの子育て支援が比較的受けやすい環境にある。

### 2 町独自の少子化対策・子育て支援施策・移住定住施策等

#### (1)にこにこ広場

初妊婦、1歳までの親子(第1子を対象)の遊びの広場として、また参加者同士の交流や情報交換の場として開設している。あわせて、保健師・栄養管理士の相談も行っている。

#### (2)子育て支援センター

親子の遊び場・交流の場として、木製玩具や絵本などを豊富に配置し、絵本の読み聞かせやわらべ歌、ふれあい遊びなどを行っている。

#### (3)子ども医療費助成

平成28年8月から中学校修了前までを対象に保険適用分を無償化。

#### (4)乳児おむつゴミ袋無料配布

出産された家庭に紙おむつの廃棄に使用できるゴミ袋を配布している。

#### (5)乳幼児歯科健診・フッ化物塗布

乳幼児を対象に、春と秋に歯科健診およびフッ化物塗布を実施している。

### 3 施策を実施するに至った背景及び今後の展望

共和町の人口減少・少子高齢化は、今後も続くことが予想されるが、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めるためには、子どもを産み、育てたいと思う環境づくりや地域で高齢者を支えるしくみづくりが重要となる。

特に結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくりを行うことは、人口流出の防止や移住促進にもつながり、今後も社会全体で子育てを支援するしくみをつくることが重要である。

また、高齢化の進行により、医療・介護等のニーズが高まることが予想されるが、生産年齢人口の減少による福祉関連分野の担い手不足が懸念されることから、健康寿命の延伸を目指し、町民一人ひとりが健康づくりを実践できるよう支援していく。